

令和5年度指定管理者評価シート

1 管理運営の状況等

(1)施設名	与野本町デイサービスセンター
(2)施設概要	<p>①所在地 さいたま市中央区本町東4丁目7番20号</p> <p>②施設の設置目的 老人福祉法に規定する基本理念に基づき、デイサービスセンターの利用者の健康で安らかな生活の維持向上に寄与し、福祉の増進を図るための施設</p> <p>③施設の概要 開設年月 平成5年11月 延床面積 1,512.69㎡ 構造 鉄筋コンクリート造 地上3階建</p> <p>④事業内容(定員30人) ・老人デイサービス事業 ・障害者デイサービス事業(共生型サービス) ・生きがい活動支援通所事業</p>
(3)指定管理者	社会福祉法人 シナプス
(4)指定期間、指定管理料	<p>①指定期間 令和2年4月1日～令和7年3月31日</p> <p>②指定管理料(直近3か年) 令和3年度 11,300千円 令和4年度 11,300千円 令和5年度 11,300千円</p>
(5)施設の管理運営の内容	<p>①運營業務の状況(利用状況含む)</p> <p>◇利用状況 ・利用者数 6,687人(前年度 7,516人) (1日平均22人) ・稼働率 72.1%(前年度 81.1%)</p> <p>◇業務実施状況 昨年度、年間7,000人の利用を達成することができ、令和5年度についても昨年度同様の7,000人を目標に新年度をスタートしたが、7月以降からは同居家族の体調不良や利用者のADL低下などがあり施設入所等の理由で契約が終了になる利用者が続いた。最終的には目標にしていた7,000人利用には約300人足りず年間利用者数は6,687人の利用となった。利用者減少の大きな理由として、契約終了利用者のほとんどが85歳以上で体力的問題や体調面の不安などを抱えながら利用を続けていた利用者が多く、骨折や内科的問題を契機に自宅に戻れなくなり、施設入所になるケースが多かった。もう一点目としては、契約終了時に新規獲得の補填出来なかったことが原因と考えられる。令和6年度も厳しい状況が続くことが考えられるので、新規獲得のサイクルを構築できるよう全職員で取り組んでいきたい。</p>

(6)収支状況	①収入 ・利用料金収入 69,994千円(前年度76,950千円) ・指定管理料 11,300千円(前年度11,300千円) ②支出 ・人件費 60,941千円(前年度71,358千円) ・事務費 8,942千円(前年度 8,975千円) ・施設管理費 7,545千円(前年度 7,283千円) ・事業費 10,911千円(前年度10,880千円)
(7)利用者アンケート等による市民からの意見・要望等への対応	特になし
(8)その他	

2 提案内容の達成状況

(指定管理者から提案のあった項目の達成状況)

提案内容	達成状況
地域に開かれた施設	<p>昨年度に続き、コロナウイルス感染症対策として本年もボランティア、実習生の受入れについては実施していない状況だったが、5月8日より感染症法上の2類から5類に引き下げに伴いボランティア1グループや実習生(看護学生、未来くるワーク中学生)の受入れを再開する事ができ、数年振りに利用者がデイサービス利用時に外部の方との交流する機会を確保すること出来た。今後も感染症対策を実施しながら地域に開かれた施設としての役割を果たしていきたい。</p>

3 評価

(1)指定管理者による評価

<p>年2回(9月・3月)実施している利用者アンケートでは、全項目で「大変満足」「満足」の回答が7割を超えた。その中で上期アンケートでは、レク、アクティビティの項目で4%「不満」との回答結果となった。不満理由として、コロナ感染症対策として、夏祭りや桜ドライブなどでは縮小や制限しながら開催していたことが利用者の満足度が低下する要因となった。但し5月からはコロナ感染症対策とが緩和された為、徐々にレク、イベント、ボランティア活動による交流会などコロナ前の同様な規模で開催する事が出来た。その点は下期のアンケートでは良い結果として反映された。新年度もこれまで通り感染症対策をしっかりと実施しながら利用者が満足出来るイベントや交流会を開催していきたい。令和5年度を通して課題である稼働率の低下については、介護職員等のマンパワー不足等の問題はありますが、生活相談員、介護職を中心に、提供するプログラムやサービスの質の向上についての取り組みについて話し合い、可能なところから実践し始めていきたい。</p>

(2)さいたま市の評価(評価担当課:福祉局長寿応援部高齢福祉課)

総合評価(B)※A~D

(1)「市民の平等利用、市民サービスの向上、利用促進」に対する評価

・介護施設であることから、感染症対策は徹底しつつも、施設内の事業を徐々に新型コロナウイルス感染症拡大前の規模で実施し、利用者満足度の向上につなげた点を評価した。

(2)「経費の削減」に対する評価

・予算額と決算額との乖離が僅かであり、概ね適切であると評価した。

(3)「適正な管理運営の確保」に対する評価

・介護施設であることから、新型コロナウイルス感染症の5類移行後においても、引き続き施設内の感染防止対策を徹底し、利用者が安心・安全に利用できる環境整備に努めた点を評価した。

2 総合評価

事業計画に沿って、適正に施設運営が行われている。

(3)来年度の管理運営に対する指導事項等

引き続き適切な管理運営に努めて下さい。